

ごあいさつ



トーナメントディレクター

高橋 孝由

テルウェル東日本



株式会社ダンロップスポーツマーケティング
代表取締役社長

尾島 祐輔

DUNLOP SRIXON 社会人テニス選手権は、今回で第40回目を迎え、記念大会として開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

憲政史上初となる天皇の退位により平成は幕を閉じ、5月1日に皇太子さまが即位されて令和が始まり、今年のゴールデンウィークは最大10連休ということもあり家族旅行、のんびりとした休日を過ごす方、また、本格的なテニスシーズンの幕開けを前に体力作りに励んでおられますでしょうか。

日本人活躍の錦織圭選手は全豪オープン大会において、4回戦では試合時間が5時間を超える展開となりベスト8と幸先良いスタートで快進撃を続けています。

ATP ランキングを7位につけ徐々に自信を取り戻してきており、5月5日から開幕するマスターズ、マドリード・オープン・その翌週の12日からはイタリアローマで行われるイタリア国際、クレーでの試合に慣れてから大舞台に挑んで欲しいと思っています。

20代最後の全仏オープンとなることから、復活に期待して悲願のグランドスラム初制覇できるよう錦織圭選手情報を今後も気にしていきたいと思っています。

そして、最大規模の個人戦である夏のトーナメントDUNLOP SRIXON 社会人テニス選手権も大いに盛り上げていただきたいと思ひます。

本大会は男女ともクラス別で実施し、Aクラスを除き初回戦で敗れても、敗者戦<サバイバル戦>を行うことができることにより、最低2試合は戦える大会内容となっております。なお、今年度も年齢別男子シングルスは、45歳以上と50歳以上(単のみ)の部に分けて実施、また昨年度に引き続き女子40歳以上のシングルスとダブルスも実施します。

来る大会期間中も猛暑が予想されておりますが、優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにご日頃の練習成果を存分に発揮していただきたいと思ひます。

今回も1,030名以上の参加者に満足いくような大会運営を目指し少人数で運営いたしますので、皆様のご協力も欠かせません。どうぞ選手の皆様もご協力をお願いいたします。

最後に本大会のご協賛いただく、株式会社ダンロップスポーツマーケティング様に対し御礼申し上げますと共に、選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。

第40回DUNLOP SRIXON 社会人テニス選手権が今年も一般社団法人東京都テニス協会様主催のもと盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本大会は、各企業で活躍される社会人の方々のテニスのレベルアップと、お互いの交流をより一層深めることを目的として、一般社団法人東京テニス協会実業団委員会の皆様が創設された大会と承っております。これもひとえに、本大会を創設された実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたします。

また、全豪オープンでは大坂選手が全米オープンに続きグランドスラム2連覇でWTA ランキング1位、男子チームジャパンでは2月に開催されたデビスカップファイナル予選で勝利を収め、テニスシーズン幕開けにふさわしい活躍をされたことは記憶に新しいところです。

その一端を担う本大会では、種目も男子・女子・ベテランと、それぞれ多くのクラス分けがなされており、Aクラス出場の選手の中には、日本リーグ経験者やこの大会で優勝を機に全日本テニス選手権に出場された選手もおられ、また、社会人になり初めてラケットを握りDクラスから、ついにはAクラスに登りつめた方もおられると伺っております。

このように選手の実力に合わせてエントリーができるため、参加者も延べ1,000名以上のビッグな大会となり、社会人テニスの発展に多大な貢献をしております。

このような意義のある素晴らしい大会に弊社が微力ではありますが協力させていただきますことは誠に光栄と深く感謝いたします。

弊社もグローバルな発展をめざし、オーストラリアンオープンを始め、世界各国で行われているATPの様々な大会の協力を本年度より開始いたしました。これも、世界におけるテニスの発展が行く行くは、国内のテニス界へ寄与すると信じての支援であり、愛好家からトップ選手まで、テニスをプレイする環境を作ることへの協力は、今後とも惜しまない所存でございます。

最後に、本大会開催に際しまして、主催者であられませぬ一般社団法人東京都テニス協会様、運営にあたられませぬ一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会様、各分野で多大なるご尽力をされました関係各位に心から敬意を表しますとともに、本大会の益々のご発展を心から祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。